

PAT-NO: JP411272180A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 11272180 A
TITLE: NAMEPLATE
PUBN-DATE: October 8, 1999

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
SUMIMOTO, MITSUHIRO	N/A
TOMON, ISAO	N/A
MASUJIMA, TSUTOMU	N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
DAINIPPON PRINTING CO LTD	N/A
NIPPON INFORMATION SYSTEM:KK	N/A

APPL-NO: JP10089334

APPL-DATE: March 18, 1998

INT-CL (IPC): G09F007/00, G06K019/07

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide the nameplate which eliminates the trouble that a nameplate part where the name, etc., of a user is entered is sunk in a pocket or the name is hidden behind the collar of a suit and can not be confirmed.

SOLUTION: This nameplate comprises the nameplate part 20 having entry fields into which the name of an event that a user joins in and information regarding the user are entered and an insert part 30 which is stuck on the nameplate part and which holds it by being inserted into a pocket of clothing. When part of the upper part of the reverse side of the nameplate part and part of the upper part of the top surface of the insert part are stuck together and the insert part is inserted into the pocket, the nameplate part is positioned projecting to the front of the pocket. Then an identification information storage element where identification information for specifying the user uniquely is inputted/outputted in non-contact method is mounted on the portion sticking the insert part 30 to the nameplate part 20.

COPYRIGHT: (C)1999,JPO

DERWENT-ACC-NO: 1999-623585

DERWENT-WEEK: 200001

COPYRIGHT 1999 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Nametag fixed to participant's pocket in various event halls - has spigot attached in backside of nametag, which is used to insert nametag in user's pocket, such that name tag positions in front surface of pocket

PATENT-ASSIGNEE: DAINIPPON PRINTING CO LTD[NIPQ] , NIPPON INFORMATION SYSTEM KK[NIINN]

PRIORITY-DATA: 1998JP-0089334 (March 18, 1998)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE	PAGES	MAIN-IPC
JP 11272180 A	October 8, 1999	N/A	007	G09F 007/00

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO	APPL-DATE
JP 11272180A	N/A	1998JP-0089334	March 18, 1998

INT-CL (IPC): G06K019/07, G09F007/00

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 11272180A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - A spigot attached to a name tag backside having information about event name, and user, is inserted in the user's pocket. By inserting the spigot in pocket of user, the name tag positions in the front surface of the pocket. An identification information memory reads and writes identification information from the nametag using a non-contact system.

USE - Name tag fixed to participant's pocket in various event halls.

ADVANTAGE - Offers suitable attachment depending on size of pocket, because of the presence of spigot . DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows the front elevation of name tag.

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/8

TITLE-TERMS: FIX PARTICIPATING POCKET VARIOUS EVENT HALL SPIGOT ATTACH BACKSIDE
INSERT USER POCKET NAME TAG POSITION FRONT SURFACE POCKET

DERWENT-CLASS: P85 T04

EPI-CODES: T04-K01;

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N1999-460330

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-272180

(43)公開日 平成11年(1999)10月8日

(51)Int.Cl.⁸

識別記号

F I

G 0 9 F 7/00

G 0 9 F 7/00

Z

G 0 6 K 19/07

G 0 6 K 19/00

H

審査請求 未請求 請求項の数7 F D (全 7 頁)

(21)出願番号 特願平10-89334

(22)出願日 平成10年(1998)3月18日

(71)出願人 000002897

大日本印刷株式会社

東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号

(71)出願人 595162563

株式会社日本インフォメーションシステム

東京都港区浜松町2丁目1番地16号

(72)発明者 住本 充弘

東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号

大日本印刷株式会社内

(72)発明者 外門 功

千葉県千葉市美浜区高洲3丁目5番3-1001

(74)代理人 弁理士 松本 正夫

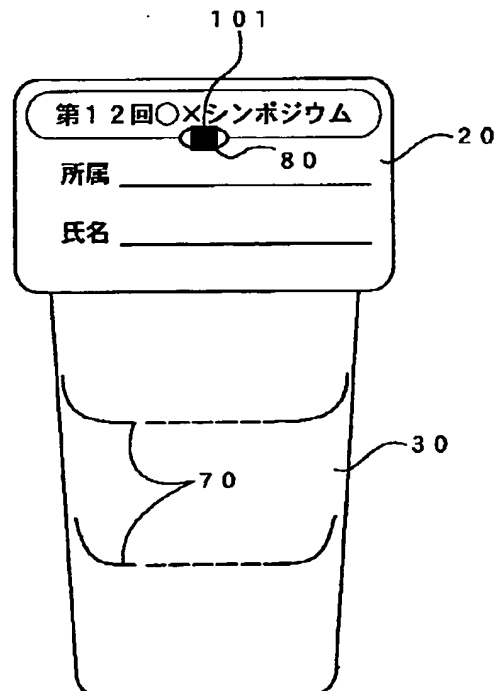
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 名 札

(57)【要約】

【課題】 使用者の氏名等を記入した名札部分がポケットに埋没したり、背広の襟等で隠れたりして氏名の確認ができないといった不都合をなくした名札を提供する。

【解決手段】 使用者が参加するイベント名や使用者に関する情報の記入欄を有する名札部(20)と、名札部と貼り付けられ、衣服のポケットに差し込むことにより保持する差し込み部(30)とからなり、名札部の裏面上部の一部と差し込み部の表面上部の一部とを貼り合わせ、差し込み部をポケットに差し込んだ場合に、名札部がポケットの前面に貼り出した状態で位置する構造とし、名札部と差し込み部との貼り合わせ部分に、使用者を一意に特定するための識別情報を非接触方式で読み書きするための識別情報記憶素子(100)を装着させた。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 使用者が参加するイベント名や使用者に関する情報の記入欄を有する名札部と、

前記名札部と貼り付けられ、衣服のポケットに差し込むことにより保持する差込部とからなり、

前記名札部の裏面上部の一部と前記差し込み部の表面上部の一部とを貼り合わせ、前記差し込み部をポケットに差し込んだ場合に、前記名札部がポケットの前面に浮き出した状態で位置する構造とし、

前記名札部と前記差し込み部との貼り合わせ部分に、使用者を一意に特定するための識別情報を非接触方式で読み書きするための識別情報記憶素子を装着させたことを特徴とする名札。

【請求項2】 前記名札部の裏面上部の一部又は前記差し込み部の表面上部の一部に、前記名札部と前記差し込み部を貼り合わせるための貼り合わせ部を設けたことを特徴とする請求項1に記載の名札。

【請求項3】 前記名札部と前記差し込み部を一体に形成し、前記名札部と前記差し込み部の境界部分に折り曲げ部を設け、前記名札部の裏面上部の一部又は前記差し込み部の表面上部の一部に、前記名札部と前記差し込み部を貼り合わせるための貼り合わせ部を設けたことを特徴とする請求項1に記載の名札。

【請求項4】 前記差し込み部の裏面上部に、安全ピンまたはクリップからなる取り付け具を装着するための切り込み部を設けたことを特徴とする請求項1乃至請求項3に記載の名札。

【請求項5】 前記差し込み部の少なくとも一個所に、前記差し込み部の下方の一部を切り離して長さを調節するためのミシン目を設けたことを特徴とする請求項1乃至請求項4に記載の名札。

【請求項6】 前記ミシン目の両端側を曲線状に形成したことを特徴とする請求項5に記載の名札。

【請求項7】 前記名札部の前記差し込み部との貼り合わせ部分に、前記識別情報記憶素子を露出させるための切り欠き窓を形成したことを特徴とする請求項1乃至請求項6の名札。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、学会や各種のイベント会場等において参加者の胸ポケット等に取り付けて使用される名札に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、学会や各種のイベント会場においては、参加者の氏名や所属等を確認するために、各参加者の名前や所属等を明記した名札が用意されている。

【0003】これらの名札のうち、コストの安い名札としては、例えば、胸ポケットに差し込み可能な形状の一枚のシートからなり、その上端のポケットからはみ出した部分に氏名や所属等を記入した構造のものが、コ

ストのかかる名札としては、衣服の任意の箇所にぶら下げることができるように、安全ピンやクリップを備えたものが提案されている。

【0004】また、各種のイベント会場等においては、入場者のチェックを行なうために、上記名札による確認、会場入り口での招待券やチケットによる確認、さらにはアプリバードカードによるチェック等が行なわれている。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】上述したように従来の名札のうち、胸ポケットに差し込むタイプの名札は、使用者の氏名等を記入した名札部分がポケットに埋没し、あるいは背広の襟等によって氏名等が隠れたりして氏名の確認ができない可能性があり、かつポケットのサイズが様々であるため、ポケットに差し込み難い或いはサイズが長すぎて折れ曲がってしまうといった問題点があった。

【0006】また、安全ピンやクリップによって付けるタイプの名札は、衣服への取り付けが面倒であると共に、他の付け方を選択できないという欠点があった。

【0007】さらに、イベント会場等での入場者チェックにおいては、名札やチケット及びアプリバードカードによるチェックでは、入場者の数が多い場合に完全なチェックを期することは不可能に近いといった問題点があった。

【0008】本発明の第1の目的は、ポケットに差し込んで取り付けした場合に、名札部分がポケットの前面に浮き出すように取り付けることで、使用者の氏名等を記入した名札部分がポケットに埋没したり、背広の襟等で隠れたりして氏名の確認ができないといった不都合をなくした名札を提供することにある。

【0009】本発明の第2の目的は、ポケットのサイズに応じて長さを調節可能とすることにより、ポケットに差し込み難い或いはサイズが長すぎて折れ曲がってしまうといった不具合をなくした名札を提供することにある。

【0010】本発明の第3の目的は、ポケットに差し込むだけでなく、取り付ける衣服に応じて他の付け方を選択することができる名札を提供することにある。

【0011】本発明の第4の目的は、イベント会場等での入場者チェックを容易とし、入場者の人数が多い場合でも完全なチェックを実現することを可能とする名札を提供することにある。

【0012】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成する本発明は、使用者が参加するイベント名や使用者に関する情報の記入欄を有する名札部と、前記名札部と貼り付けられ、衣服のポケットに差し込むことにより保持する差込部とからなり、前記名札部の裏面上部の一部と前記差し込み部の表面上部の一部とを貼り合わせ、前記差し込み

部をポケットに差し込んだ場合に、前記名札部がポケットの前面に浮き出した状態で位置する構造とし、前記名札部と前記差し込み部との貼り合わせ部分に、使用者を一意に特定するための識別情報を非接触方式で読み書きするための識別情報記憶素子を装着させたことを特徴とする。

【0013】請求項2の本発明によれば、前記名札部の裏面上部の一部又は前記差し込み部の表面上部の一部に、前記名札部と前記差し込み部を貼り合わせるための貼り合わせ部を設けたことを特徴とする。

【0014】請求項3の本発明によれば、前記名札部と前記差し込み部を一体に形成し、前記名札部と前記差し込み部の境界部分に折り曲げ部を設け、前記名札部の裏面上部の一部又は前記差し込み部の表面上部の一部に、前記名札部と前記差し込み部を貼り合わせるための貼り合わせ部を設けたことを特徴とする。

【0015】請求項4の本発明によれば、前記差し込み部の裏面上部に、安全ピンまたはクリップからなる取り付け具を装着するための切り込み部を設けたことを特徴とする。

【0016】請求項5の本発明によれば、前記差し込み部の少なくとも一個所に、前記差し込み部の下方の一部を切り離して長さを調節するためのミシン目を設けたことを特徴とする。

【0017】請求項6の本発明によれば、前記ミシン目の両端側を曲線状に形成したことを特徴とする。

【0018】請求項7の本発明によれば、前記名札部の前記差し込み部との貼り合わせ部分に、前記識別情報記憶素子を露出させるための切り欠き窓を形成したことを特徴とする。

【0019】

【発明の実施の形態】次に本発明の実施の形態について図面を参照して詳細に説明する。図1は、本実施の形態による名札を展開した状態の正面図、図2はその背面図である。

【0020】本発明の本実施の形態による名札10は、名札部20と、差し込み部30を備えて構成される。名札部20と差し込み部30は、紙などの折り曲げ可能なシート材によって一体に形成されており、名札部20と差し込み部30との境界部分には、名札部20を前面に折り曲げるための折り曲げ部40が予め設けられている。

【0021】名札部20は、略四角形に形成されており、その上記折り曲げ部40で折り曲げた際に前面を向く面には、学会やイベント名等や使用者の氏名や所属等を記入するための欄21が設けられている。

【0022】差し込み部30は、ポケットに差し込み易くするために、ポケットに適合した大きさでかつ図示のように下方に向かった幅を狭くした形状に形成されている。

【0023】差し込み部30の上部、すなわち折り曲げ部40から所定の範囲には、名札部20を折り曲げ部40で前面に折り曲げた場合に、名札部20の上部の一部を差し込み部30側に貼り合わせるための貼り合わせ部50が設けられている。この貼り合わせ部50には、一例として両面テープが用いられる。

【0024】この貼り合わせ部50は、剥離紙を残した状態で差し込み部20側に予め貼り付けてあり、名札10を実際に使用する際には、貼り合わせ部50の剥離紙を剥がし、折り曲げ部40で折り曲げた名札部20を貼り合わせ部50によって差し込み部30側に貼り合わせる。

【0025】このように、名札部20を折り曲げて差し込み部30側に貼り付ける構造としたことにより、名札部20を貼り付ける際に、名札部20と差し込み部30の間に、リボン等の飾りを挟み込むことが可能となり、差し込み部30を胸ポケット等に差して名札を取り付けた場合、名札部20の下側に飾りが現れるようになり、装飾的な効果を持たせることができる。

【0026】差し込み部30の裏側上部には、図示のように安全ピンやクリップ等を取り付けるための切り込み部60が設けられている。差し込み部30を差し込むためのポケットがない場合、この切り込み部60を起こして、図6に示すように、安全ピンまたはクリップ65を取り付けテープ66等で接着することで、安全ピンを利用した名札付けが可能となる。

【0027】また、差し込み部30には、差し込むポケットの深さに応じてその長さを調節するためのミシン目70が設けられている。本実施の形態では、差し込み部30の長さを3段階に調節できるように、ミシン目70を2箇所設けている。このミシン目70は、その両端を図示のように曲線状とすることにより、ミシン目70の部分で差し込み部30が不用意に折れ曲がってしまうことがないようにしてある。

【0028】名札部20と差し込み部30の貼り合わせ部50によって貼り付けられる部分には、名札10の使用を一意に特定するための情報（例えば、ID番号）を読み書きするための識別情報記憶素子100が挟み込まれて装着される。この識別情報記憶素子100は、図3に示すように、名札部20を折り曲げる際に、貼り合わせ部50に貼り付けることにより、名札部20と差し込み部30の間に挟み込んで装着する。

【0029】また、名札部20の上記貼り合わせ部50によって貼り付けられる部分には、上記の識別情報記憶素子100を露出させるための切り欠き窓80が設けられている。

【0030】識別情報記憶素子100は、非接触方式によって入場者の識別を行うためのものである。この識別情報記憶素子100が図示のようにポケットからはみ出して見える名札部20の一部に設けた切り欠き窓80か

ら見える構造としている。このような切り欠き窓80を設けたのは、識別情報記憶素子100の読み書きを行なうための電波の吸収性を良くし、識別性能の信頼性向上を図るためである。

【0031】本実施の形態においては、この識別情報記憶素子100として、いわゆる非接触ICチップを用いている。

【0032】この非接触ICチップは、双方向識別技術により実現した高性能、低価格、小型軽量で、かつ外部環境の変化に対する耐久性に優れた画期的な情報記憶素子である。例えば、マイクロ波方式の非接触ICチップであれば、マイクロ波（例えば、2.45GHz）等を使用して情報の読み書きが可能である。その他、電磁結合方式、電磁誘導方式、近赤外線を使用した光通信方式のもの等がある。

【0033】本実施の形態で用いている非接触ICチップは、WORM（Write Once Read Many）タイプのアンチフューズメモリを採用しているため、データの保水性に優れ、一旦書き込んだ情報の改ざんは不可能である。

【0034】この識別情報記憶素子100（非接触ICチップ）は、図5に示すように、IC本体101を電波の送受を行なうためのアンテナ103を形成した保護フィルム材102の間に挟み込んで貼り合わせた構造であり、IC本体101とアンテナ103は、導電性の接着剤によって電気的に接合されている。

【0035】本実施の形態では、非接触ICチップ101として、記憶容量：1024bits、読み出し距離：35cm、書き込み距離：17.5cm、処理速度：1word（16bits）の読み出し時間4ms、書き込み時間9msで、マイクロ波（2.45GHz）によって読み書きを行なうマイクロ波方式のもので、幅60mm、高さ10mm、厚さ0.1mmのサイズのものを使用している。

【0036】上記説明した名札10を使用する場合には、参加者毎に設定した識別情報を予め書き込んだ識別情報記憶素子100を貼り合わせ部50に貼り付けた状態で、名札部20を折り曲げ部40で折り曲げて差し込み部30側に貼り合わせる。これにより、図4に示すように、名札部20と差し込み部30の上部同士が貼り合わされ、かつ切り欠き窓80から識別情報記憶素子100のICチップ101が露出した状態で、名札10が完成する。

【0037】完成した名札10は、図7に示すように、その差し込み部30をポケット90に差し込み、名札部20と差し込み部30の貼り合わせれていない部分でポケット90の上部を挟み込むことにより、名札部20がポケット90の上縁から前面に浮き出した状態で取り付けることができる。また、名札部20と差し込み部30の貼り合わせれていない部分でポケット90の上部を挟

み込むことで、安定した取り付けが可能となる。

【0038】また、ポケット90の深さが差し込み部30より浅い場合には、ミシン目70で差し込み部30の一部を切り離すことにより、ポケット90の深さに適合するように差し込み部30の長さを調節する。これにより、深さの異なる種々のポケットに対応することができる。

【0039】なお、名札10を構成するシート材の材質としては、紙やプラスチック（PETシート、PPシート）等を使用することができる。PETシートやPPシートについては、誘電率が“1”に近いものが電波を受けやすくICチップの性能発現のために好都合である。また、紙製の場合には、必ずしも上述した切り欠き窓80を設ける必要はないが、電波が水分に吸収されやすいことから、シリコンやフッ素加工等の耐水性の処理をすることが好ましい。

【0040】次いで、名札10に装着した識別情報記憶素子100（非接触ICチップ）に対する識別情報の書き込み及び識別情報の読み出し処理を行なうためのシステム構成例を図8に示す。

【0041】ここでは、識別情報記憶素子100（非接触ICチップ）に対してマイクロ波による情報の読み書きを行なうスキャナ200と、アンテナ300と、スキャナ200による識別情報の読み書き及び識別情報の確認処理等を行なうコンピュータ400とで構成される。

【0042】コンピュータ400には、非接触ICチップ101に対する識別情報の書き込み、非接触ICチップ101からの識別情報の読み込み、読み込んだ識別情報の照合及び識別情報に対応して格納された関連情報（例えば、識別情報に対応した名札使用者の画像情報）の表示処理を行なうためのソフトウェアが組み込まれている。

【0043】上記システムによって、名札に装着された識別情報記憶素子100（非接触ICチップ）に書き込まれた使用者の識別情報の照合を行なう場合には、参加者毎に設定した識別情報を識別情報記憶素子100に予め書き込んだ名札10を会合やイベントに参加する参加者に配り、イベント会場等の入口に、上記システムのアンテナ300を設置して、入場する参加者が装着した名札10の識別情報記憶素子100の識別情報を読み取る。そして、読み取った識別情報をコンピュータ400に登録された識別情報と照合して参加者の真偽を確認する。

【0044】その際、例えば識別情報に対応させて参加者の顔写真を画像情報として登録し、識別情報の照合の際に画像情報を表示するように構成すれば、識別情報の照合だけでなく参加者本人であることの照視による確認を行なうことができる。このような構成とすれば、特定の場所への部外者の入場を厳重にチェックする必要がある場合に極めて有効であり、セキュリティの確保が実現され

る。

【0045】なお、本発明は上述した実施の形態に限定されるものではなく、その技術思想の範囲内において様々に変形して実施することができる。上記実施の形態では、名札部10と差し込み部20を一体に形成した例を示したが、名札部10と差し込み部20を別々に形成して互いに貼り合わせ部によって貼り合わせる構成とすることもできる。

【0046】

【発明の効果】以上説明したように本発明の名札によれば、第1に、ポケットに差し込んで取り付けた場合に、名札部分がポケットの前面に浮き出すように取り付けることができるので、使用者の氏名等を記入した名札部分がポケットに埋没したり、背広の襟等で隠れたりして氏名の確認ができないといった不都合をなくし、氏名の確認がし易いといった効果が得られる。

【0047】第2に、ポケットのサイズに応じて差し込み部の長さを調節可能とすることにより、ポケットに差し込み難い或いはサイズが長すぎて折れ曲がってしまうといった不具合をなくし、ポケットのサイズに応じた適切な取り付けを行なうことができる。

【0048】第3に、必要に応じて安全ピンやクリップを取り付け可能とすることにより、ポケットに差し込むだけでなく、取り付ける衣服に応じて他の付け方を選択することができる。

【0049】第4に、名札部と差し込み部との貼り合わせ部分に、使用者を一意に特定するための識別情報を非接触方式で読み書きするための識別情報記憶素子を装着したことにより、イベント会場等での入場者チェックを容易とし、入場者の人数が多い場合でも完全なチェックを実現することを可能とする。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の実施の形態による名札を展開した状態を示す正面図である。

【図2】 本発明の実施の形態による名札を展開した状態を示す背面図である。

【図3】 本発明の実施の形態による名札の貼り合わせ部に識別情報記憶素子を装着した状態を示す正面図である。

【図4】 本発明の実施の形態による名札の完成させた状態を示す正面図である。

【図5】 本発明の実施の形態による名札識別情報記憶素子の構成を示す図である。

【図6】 本発明の実施の形態による名札に安全ピン又はクリップを取り付けた状態を示す背面図である。

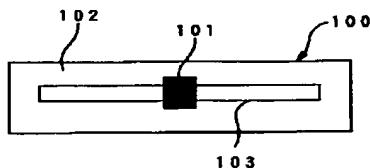
【図7】 本発明の実施の形態による名札のポケットへの取り付け状態を示す正面図である。

【図8】 本発明の実施の形態による名札に装着した識別情報記憶素子に対する識別情報の書き込み及び識別情報の読み出し処理を行なうためのシステム構成例を示す図である。

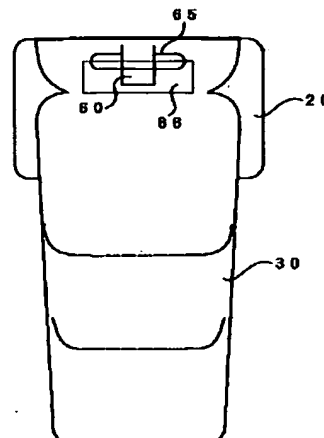
【符号の説明】

- 10 名札
- 20 名札部
- 30 差し込み部
- 40 折り曲げ部
- 50 貼り合わせ部
- 60 切り込み部
- 70 ミシン目
- 80 切り欠き窓
- 90 ポケット
- 100 識別情報記憶素子
- 101 IC本体
- 102 保護フィルム材
- 103 アンテナ
- 200 スキャナ
- 300 アンテナ
- 400 コンピュータ

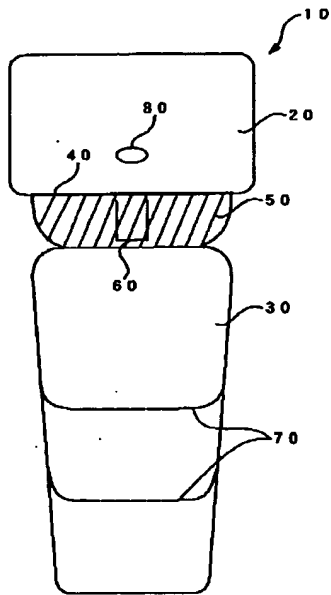
【図5】



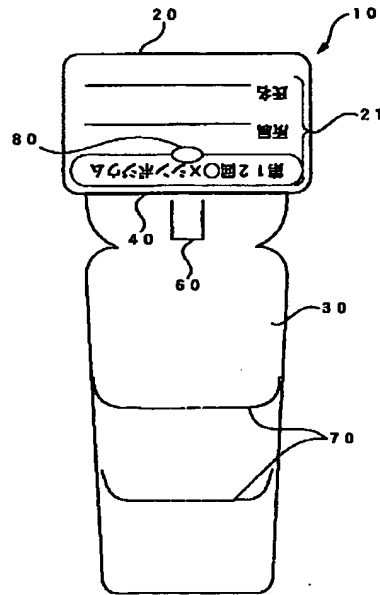
【図6】



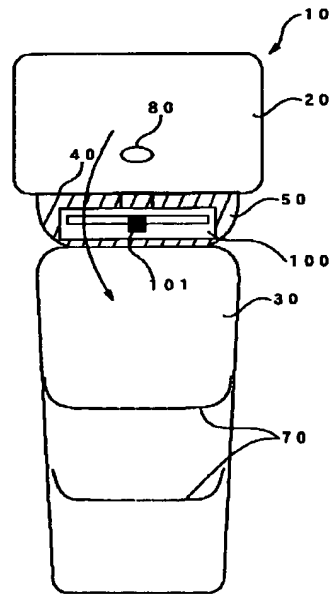
【図1】



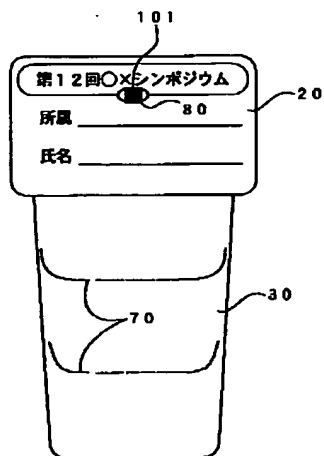
【図2】



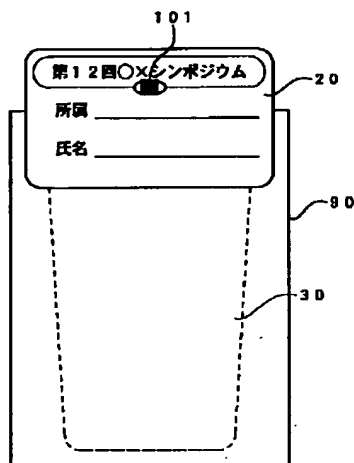
【図3】



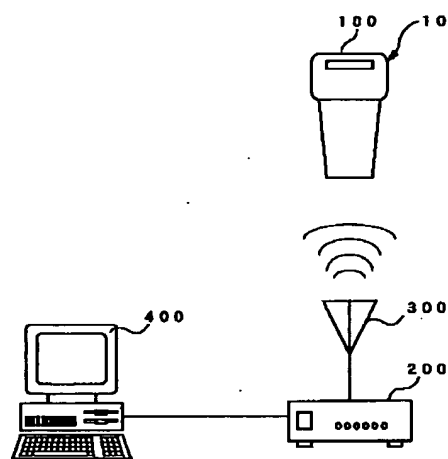
【図4】



【図7】



【図8】



フロントページの続き

(72)発明者 升島 努

広島県広島市西区古江東町1-7